

中部地域【地域政策】

現状

中部地域は群馬県のほぼ中央に位置し、前橋地域、渋川・北群馬地域、伊勢崎・玉村地域の3つの地域の3市2町1村から構成されます。大消費地である東京及びその周辺地域に近い立地条件の下、水利や土地基盤の整備が進んだ農地等を活用し、安全・安心で多彩な農畜産物を生産・供給しています。また、消費者や学校給食等と連携した地産地消、直売所や農園を核とした観光農業、消費者ニーズや環境等に配慮した農業の実践など、地域農業の維持・強化に向けた様々な取組が行われています。「米麦二毛作を基幹とした土地利用型農業」、「首都圏を始めとした大消費地向けの野菜の生産」、「県全体の4割以上を占める畜産」及び「赤城山麓や渋川周辺地域の観光農業」などが、この地域の農業の特色となっています。



取組方向【重点推進事項】

意欲ある多様な担い手の確保と育成

近年、新規就農者は増加傾向にあるものの、農業従事者の高齢化や担い手の減少により、地域農業経営は脆弱化しています。また、認定農業者においても高齢化が進み、今後の大幅な増加は見込めない状況にあります。このため、地域農業を担う多様な担い手の確保と育成が大きな課題です。

また、効率的・安定的な農業経営のため、認定農業者や集落営農組織への農地集積が一層必要であり、集落営農組織の法人化による体質強化が課題となっています。

農業関係機関・団体等の連携により就農支援体制を強化し、新たに農業を志す新規就農者に対して、研修受け入れ農家や農地・遊休施設情報等の整備を行うとともに、就農環境づくりと農業経営の自立を支援します。

認定農業者への農地集積や効率的・持続的な農業経営を行うことができる集落営農組織の法人化の推進と集落営農法人設立後の支援を行い、経営体質の強い担い手を育成します。

効率的・安定的な担い手となる経営体を育成するため、農業経営改善計画の認定を進めるとともに、認定農業者の経営管理能力の向上を図ります。

女性・高齢者、定年帰農者等の生産技術・経営管理能力向上を支援します。また、農村起業の育成と組織の活性化を推進します。

野菜生産の拡大と経営基盤の強化

中部地域では、平坦地から中山間地まで標高差のある地形を活かし、多品目な野菜が生産されています。担い手不足による生産の脆弱化へ対応し、野菜の生産を拡大して経営基盤を強化していくためには、省力・低コスト化等の生産技術の導入とともに、雇用労力を活用した生産規模の維持・拡大、多様な経営形態の育成・強化が必要となっています。また、消費者の産地に対する信頼性向上につなげるため、環境に配慮した持続性の高い野菜生産が求められています。

野菜の生産・販売戦略を持った産地づくりを実現するため、各ＪＡごとの野菜振興プロジェクト会議等を核に関係機関が一体となり、県重点品目や地域推進品目等の生産規模拡大への取組を進めます。また、産地の認知度・信頼性向上を図るため、販売・流通促進への取組を支援します。

前橋地域では、雇用導入によるきゅうり経営の安定化と露地なすの新規作付及び規模拡大を推進して、野菜産地の発展を図ります。また、ねぎやほうれんそうでは機械化による省力化や作業受託組織の育成を行い、産地の活力向上を図ります。

渋川・北群馬地域では、いちごやなすへの総合的病害虫防除（ＩＰＭ）技術導入による環境に配慮した野菜生産の推進、ブロッコリー、パプリカなど地域推進品目の推進、生産法人や生産組織の活動支援などを通じて、野菜産地の活性化を図ります。

伊勢崎・玉村地域では、露地なすとブロッコリーを中心に新規栽培者の掘り起こしや推進を実施し、生産拡大を図ります。また、施設・露地なすではＩＰＭ技術の導入を推進し、安全性を高めます。

畜産生産基盤及び経営体質の強化

畜産経営の専門化・大規模化に伴い、輸入飼料への依存割合が増加し、飼料価格の変動は経営に大きな影響を及ぼしています。経営安定化のため、自給飼料の利用を促進することが必要となっています。

また、海外から家畜伝染病が侵入する危険性が高まっていることから、県・市町村・関係団体及び家畜飼養者が役割分担を明確にし、密接な連携の下、効果的・効率的な家畜防疫を的確に推進していく必要があります。

家畜糞尿処理については、野積み・素掘り等はほぼ改善されましたが、経営に起因する悪臭苦情が発生しています。今後は、農業生産における土づくりの観点からも耕畜連携によるたい肥の更なる流通促進が課題となっています。

集落営農組織等を含めた飼料作物生産組織や地域型コントラクターの育成・強化を図るとともに、飼料イネや飼料用とうもろこし等の自給飼料の生産拡大を推進します。

生産家畜や生産物の安全性の確保を図り、適正な飼養衛生管理を推進します。また、事前対応型の家畜防疫として、防疫演習を通じて関係者に伝染病発生時の役割分担を広く周知するとともに、管内の家畜衛生情報の収集に努めます。

畜産農家と耕種農家の連携による循環型農業を確立するため、土壌診断結果に基づいた適正施肥によるたい肥の地域内流通を促進します。また、併せて稲わら等の有効活用を図り耕畜連携を推進します。

農地の有効活用による自給率向上

米麦二毛作を基幹とした土地利用型農業を維持し、水田農業の経営を安定させるためには、自給率向上に取り組む環境を作り、新規需要米（米粉用米、飼料用米、飼料イネ）等の作物の生産を増やしていくことが不可欠です。

年々増加する耕作放棄地は、病害虫・鳥獣被害の発生、雑草の繁茂、用排水施設の管理への支障等で周辺地域の営農環境に悪影響を及ぼし、また、地域農業の担い手への農地集積の阻害要因ともなっています。

前橋地域では、地域型コントラクターによる飼料イネの定着と生産安定を図るとともに、麦類の生産安定と小麦新品種「さとのそら」にGAPを導入します。

渋川・北群馬地域では、農業農村整備事業による基盤整備や農業用水などの条件整備を通じて農地の利用促進を図ります。

伊勢崎・玉村地域では、小麦新品種「さとのそら」にGAPを導入します。

地域担い手育成総合支援協議会が中心となり、耕作放棄地の現状・情報を整理し、関係機関と連携して地域での話し合いを重ね、担い手への集積を効率的に促進するなど、その再生利用を図ります。

鳥獣被害防止対策として防護柵等の設置やわな猟免許取得を支援するとともに、集落単位で対策が進むよう指導者・技術者等の人材育成を支援します。

観光資源を活かした地域農業の振興と地産地消・食育の推進

中部地域には全国的に知名度のある伊香保温泉、赤城山などがあり多くの観光客が訪れています。近年、農産物直売所や果樹園をはじめ、食や体験など多様な観光資源を有する農業が注目されています。地域農業の振興を図るためには、魅力ある観光資源としての価値の創出と関係者の連携強化が求められています。

伊香保温泉旅館等への地場産物の供給拡大を図るため、新規品目の掘り起こしや、農産加工品の開発を行い、地域特産品としての定着化・利用拡大を推進します。

赤城山地域振興プロジェクトと連携し、直売所・果樹園等を核とした観光農業を推進します。

魅力ある観光資源として価値を創出するため、農産物直売所に対応した少量多品目生産を推進するとともに、四季を通じて収穫体験できるいちご、おうとう、ブルーベリー、ぶどう、りんご等の観光農園の連携と、その品質向上を推進します。

県産農畜産物の利用促進を図るため地産地消に取り組み、また、教育や農業団体との連携による食育を推進します。

地域特産農産物の生産振興

渋川・北群馬地域においては、主要作物としてこんにゃくの産地が形成されていますが、連作による土壌病害の発生や輸入増加による価格の不安定化などで経営が圧迫される一方、農村地域への混住化が進み、薬剤散布等に対して配慮が求められています。

また、中部地域のきのこは、県内生産量の概ね4割を占めており、生しいたけをはじめ、多種類のきのこが生産されていますが、価格競争及び産地間競争の激化により厳しい状況に置かれているため、低コスト生産と高品質化が求められています。

渋川・北群馬地域では 主要作物であるこんにゃくの産地対策として、輪作や優良新品種みやままさりの普及を図るとともに、温湯消毒機や越冬栽培などの新技術の導入により、環境に配慮した栽培を推進します。

きのこでは、生産コストの削減や生産の合理化に向けた施設等の再整備を推進します。また、安全なきのこを求める消費者の声に応えるため、生産者団体が行う安全生産への取組を支援し安全生産管理を推進します。

農業生産基盤の保全・整備

中部地域の基幹的な農業用水路の中で、群馬用水(築造年度: S40 ~ 53)、大正用水(S19 ~ 27)、坂東大堰・広瀬桃木両用水(S23 ~ 25)、佐波新田用水(T13)、赤城大沼用水(S31)などの施設は、老朽化に伴い用水機能低下が進行しており、計画的な補修・補強・更新が必要になっています。

渋川市赤城町地域や伊勢崎市境地域の畑地帯は、整備が遅れており、野菜の産地化や担い手育成の障害、耕作放棄地増加の一因となっていることから、早急な整備が必要となっています。

基幹農業用水利施設については、劣化状況及び機能低下状況を把握し、その状況に応じた保全対策を計画的に進めるストックマネジメント手法による整備を推進し、ライフサイクルコストの低減と施設の長寿命化を図ります。

渋川市赤城町地域の畑地帯基盤整備の推進し、水を使った高収益作物への転換を支援します。

伊勢崎市境地域の基盤整備を行い、担い手への農地集積を図ります。

地域の状況に応じた多様な主体の参加を得て、施設の適切な維持管理と農業用水の有効利用を図る農地・水保全管理支払を推進します。